

外来語

マックドナルドでハンサムなウェイターからメニューをもらいました。えっ！これは本当に日本語でしょうか？英語みたいでしょう？このぶんしょうにみなさんもうわくすると思います。ほとんどのたんごはもとは英語ですが、ぶんぼうは日本語です。

とうけいによると、げんだい日本語では10パーセントぐらいが外来語だそうです。ですから、英語ができて日本語を勉強したい外国人はたいてい「あっ、それはべんりだな」と思うでしょう。でも、日本語を勉強してみると、べんりじゃないことがすぐ分かります。それはほとんどのがいらいごははつおんがかわったり、いみがかわったりしているからです。たとえば日本語にスマートというたんごがあります。英語ではスマートは「あたまがいい」という意味ですが、日本語ではスマートは「やせている」という意味です。それからわせいえいごというの也有ります。わせいえいごとは日本でえいごのたんごをくみあわせて作ったたんごで、アメリカやイギリスではつうようしません。たとえばガソリンスタンドは英語ではgas stationといいますし。

しかし、外来語にこまっているのは外国人だけではありません。日本のアンケートによると日本でも外来語がわからない人がたくさんいるそうです。ティーンエージャーは外来語がよくわかりますが、歳が上になるにつれて外来語が分からない度合いがふえるようです。外来語は西洋のポップカルチャーや広告から日本に入ってくることが多いので、としよりは外来語が分からないことがおおいのでしょう。

ではどうしたら外国人がこのような外来語をわかるようになれるのでしょうか。いちばんかんたんな方法は外来語を外国語だと思わず、日本語の単語だと思って勉強することだと私は思います。もっているちしきをすてて、新しいたんごとして外来語をならうのはむずかしいようですが、これがいちばん時間のかからない方法じゃないでしょうか。でも本当のことを言うと、私こじんとしてはあまり外来語がふえてほしくありません。日本語にもたくさん美しいことばがありますから、新しいたんごはなるべく日本語にやくして日本語らしさをたもってほしいと思っています。

ごせいちょうありがとうございました。